

モルゲンロー- 9

- 目次 P1 平成31年度当初予算案への討論
P2 H30.12月一般質問、 P4 H31.3月一般質問
P6 H31年度予算審査質疑、請願・陳情討論など
P7 議員報酬改正に反対など
P8 読者の声、編集後記

公共下水道予算に反対

平成31年度公共下水道予算案に対し、従前の町行政の表明に反し、消費税引き上げ分を、十分な説明のないまま、町民負担とすることから反対

消費税引き上げを吸収しようとする経営努力、下水道や集落排水の現状をご理解いただく努力、それらの行政の努力が町民に見えていない。なぜ、引き上げ分を吸収したいとした平成29年以降、不作為だったのか

消費税率引き上げに対しては、下水道使用料に転嫁せず実質的に据え置いて、今まで不作為であった反省を踏まえ、早急に抜本的な検討をすべきだ
予算案に対する反対者は1名で、消費税増税分を町民負担とする予算案は成立

(関連 P4、詳細はHPのモルゲンロー(ブログ) H31.3.22)

代替バス予算に反対

平成31年度代替バス会計の当初予算案に対し、雇用現状の把握、委託料積算への疑問、行政の姿勢の3点で反対
バス乗務員募集の求人は、岩美営業所が除かれている。運行委託料の積算は、人役数の算出で、分子分母が突合しない。非運行時間の全部を町負担としている。スクールバス運行業務と併せ、岩美営業所管理職員の費用を8割も町負担とする。これらについて、納得できる説明がない

行政の頑なな姿勢。説明しきれていない状態で押し通す行政の姿勢が、各所に現れる。誤りがあるなら、速やかに訂正すべきで、説明に不具合があるなら、整理すべきだ。行わないまま、押し通そうとする姿勢が、最も問題だ
予算案に対する反対者は1名で、予算は成立
(詳細はHPのモルゲンロー(ブログ) H31.3.22)

水道事業予算に反対

平成31年度水道事業予算案に対し、膨大な未処分利益剰余金の処分が示されていない点で反対

国は、収益が見込めない小規模な水道である簡易水道を、全国の3分の2が黒字を出しているとされていた規模の大きな上水道に統合させることで、簡易水道に対する一般会計の負担軽減を図っている

町は、簡易水道を一般会計の税金負担ではなく、上水道

第9号 令和元年(2019年)5月1日(水)

杉村ひろし後援会活動通信誌、春秋発行原則全戸配布
連絡先 浦富1690番地1 杉村宏 TEL 0857-72-0981

HP <https://uradome.grupo.jp/>
(上記HPに本誌等を随時掲載しています)

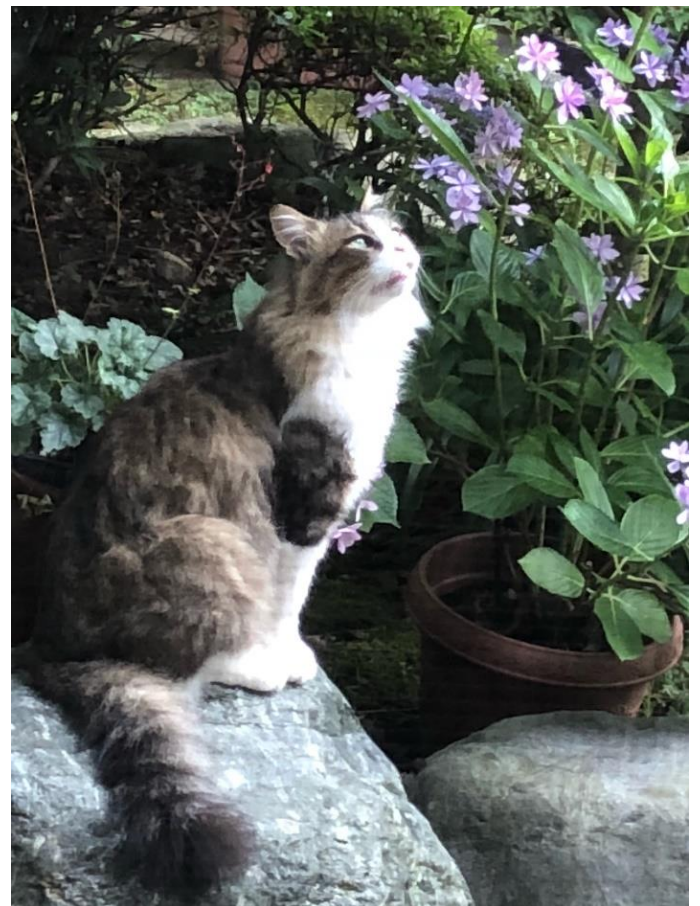


HPのフッターコンテンツのクイズ4択からひとつ「地球の地殻は8種類の原子が99%を占めている。では、酸素原子の体積比は地殻全体のどの程度？」61%、71%、81%、91% 答えは、P8の編集後記の最後に、記載しています

と会計を同じくして管理し、水道料金で両者を賄ってきており、水道使用料の負担レベルは、高止まりだ

会計基準の変更が実施され、平成25年度の貸借対照表では当年度未処理欠損金が8140万円であったが、翌年の貸借対照表で1億3554万円の当年度未処分利益剰余金となり、本年度末の予定貸借対照表でも当年度未処分利益剰余金は1億6269万円と増加している

公営企業は、黒字を大きく出すためでも、内部留保資金を増大させるためにあるものでもない。未処分利益剰余金に対する考え方をまとめるべきとの観点で、反対
予算案に対する反対者は2名(杉村、田中)で、予算は成立
(詳細はHPのモルゲンロー(ブログ) H31.3.22)



(H30.6.28 空を見上げて何思う?(編集長撮影)) **モル9 P1**

〈平成30年12月18日 杉村宏議員一般質問〉

1 (問)除雪経費の補助を始めるべき

(答)補助は必要で、1年かけて検討する

杉村 除雪経費に対する補助を始めるよう求める。平成29年、33年ぶりの豪雪があり、本年も相当な積雪だった。人力での除雪作業は体力が必要だ。自治会等で小型除雪機の普及が進んでいる。個人保有も相当数ある

岩美町は、除雪計画を毎年策定し、平成30年度の除雪計画も、除雪路線の図も含め、町HPに掲載されている。以前からこの除雪計画に組み込んでほしいとの根強い意見がある。ただ、公助としての町の対応にも限りがあり、共助として、小型除雪機による生活道路の除雪を自治会等が実施していただいている現状だ

道路管理者による除雪が行われない生活道路で、自治会などが実施する除雪経費補助を、始めるべきだ

また、個人や世帯で解決できないほどの除雪に対し、地域において共同で対策することは、自治会活動への参加や地域コミュニティの維持向上にもつながる

町長 集落内の生活道路の除雪は、自助、共助で、地域の皆さんが協力して取り組んでいただくべきだ。除雪経費の補助は、鳥取市が除雪に要した経費の4分の3、1集落に最大5万円の支給をしている。除雪経費の補助制度は必要で、今後、内容等について検討したい

杉村 鳥取市の平成30年度の除雪活動支援事業の交付申請締め切りは、平成31年3月15日だ。除雪作業の時期が終わってから、交付申請となる。今後検討するということだが、30年度からの交付は無理か

町長 次年度の対応と考えている

杉村 1年かけて、いい制度をつくりたい気持ちはわかる。

しかし、最初から立派でなくても、一部でもどうか

町長 均衡、公平で、どういった部分に助成をしていくか、きちんと想定しながらすべき。1年間かけて検討する

杉村 今の時点で制度を持っていない。33年ぶりの豪雪、今年の相当の積雪。そして、これから積雪するであろう時期を迎える。つまり、遅いのではないか

北栄町の補助対象経費は除雪機の燃料費、除雪機の借上料、除雪作業委託料等だ。補助対象の考えはどうか

町長 小型除雪機を使う上での傷害保険、燃料代の一部だ。小型除雪機等の借り上げ料は想定していない

杉村 町内どこの集落も人的貢献なくして共助における除雪は行えない。作業の委託料も柔軟に考えるべきだ。鳥取、島根の両労働局は、降雪労災の中で114件が転倒事故とされている。転倒に特に配慮する必要がある

2 (問)鳥取行きのバス快速便の利便向上を

(答)運行会社に伝える

杉村 日本交通株式会社が運行している岩井線の快速便の利便向上を図るべきだ

民間業者である日本交通株式会社が、鳥取市と岩美町を結ぶバス運行で、地域高規格道路である岩美道路を利用して、本年10月から快速便が運行されている。所要時間は、岩美駅から中央病院まで20分。鳥取駅までは37分で、従来よりも20分間短縮だ。高規格道路の利用を享受できるようになったバス利用者や町民の方の利便は、この快速便運行により、確実に向上した

快速便の考え方は、4年以上前から、バス路線の改編として駒山バイパスを利用した鳥取市直行バス路線の創設を街頭などで演説していたが、具体的な提案は行っていない。バスを利用される方の人数は、ただでさえ減少し、その上、高規格道路を利用する路線は、当然に、時間短縮が見込める。そのことは既存路線の維持に大きな影響を与える。それらのことを十分に熟慮し、利用者の皆さんのご理解を深めながら進めなければならぬ、したがって、このたびのような快速便を、例えば一般質問などで取り上げることを、躊躇していた

そうした中、本年5月10日の地元紙に、快速便新設との記事が掲載され、同月の25日の常任委員会で聞いたところ、町行政は未協議とされ、議会に何の協議や報告もないまま、本年9月の町広報紙に快速便の運行が始まると掲載され、大変驚いた。その後、9月12日の常任委員会で報告されたが、既存路線への影響などの検討をどこまで深めたのか、甚だ疑問だ。既成事実が進行する中で、何らかの不都合な事態にならないことを祈る



(H31.4.1 岩美駅前停車中の快速便車両。この日は、左の車両からの乗り換えをされている方が多くありました。)

しかし、快速便の運行が始められている以上、高規格道路の、20分短縮という利便享受をバス利用者から奪ってはならない。快速便を中止させてはいけない

快速便の利用状況を把握されているか

企画財政課長 1日3往復6便運行で、土日祝日は1往復2便だ。乗車人員は1便当たり、10月0.59人。11月0.52人
杉村 利用が芳しくない理由を、どう捉えているか

町長 利用者の都合のよい時間帯のバスダイヤかは疑問がある。ゆめぐりエクスプレスバスとの調整も疑問だ

杉村 町内の快速便の停留所は岩美駅1カ所だ。せめて浦富ICに近いサンマート前など停留所を追加するとか、運行ダイヤの見直しとか、より町民の利便向上を図れるよう日本交通と協議しないか

町長 停留所の追加は、運行会社に停留所を増やすよう伝えている。バス会社からはダイヤ改正時に検討をしてみたいという返事だ。また、時間帯は、ゆめぐりエクスプレスバスとの関係で難しいが、若干ずらすことは、運行会社にも申し入れをさせていただきたい

杉村 ダイヤは春改正で、今ぐらいには検討しておかなければいけない。ゆめぐりエクスプレスとの関連は、新温泉町ともよく協議をした上で、岩美町の意見も踏まえた上で、進めていただきたい

3 (問)重要案件は、全町民を対象にアンケートを

(答)必要だ。多くの方の意見を伺いたい

杉村 重要な案件であればあるほど全町民の声を聞くような姿勢を町は持つべきだ。本年11月23日に行われたいわみ地域創生チャレンジフォーラムで、町内4地区が発表された。いずれも地に足のついた活動で、大変敬服した。印象に残った言葉は、東地区の「地域活性化のためには、与えられた力ではなく、みずからの力でつくっていくことが大事」、網代地区の「網代地区出身の方でなくても、ふるさとと同じように思っしてほしい」、岩井地区の「子どもの自信につながっている」という大変ありがたい成果、そして、蒲生地区発表で、中学生以上の全住民アンケートに挑戦され、回答率は63%。しかも、地域の宝である中高生は、12名で、その全員から回答があった。発表の隅々に、人口が減少し高齢化が進んでいく地域の実態をよくご認識され、危機感を持ちながらも、慌てず、焦らず、諦めず、しかしその実態を住民全体で共有し、「みんなでやるぞ」とするため、全住民アンケートに挑戦した姿勢が素晴らしい

岩美町も、蒲生地区と立場は同じ。因幡圏域の端に位

置し、鳥取県でも東の端、岩美町の中で蒲生地区が中山間地で人口が減少していることと、日本や鳥取県の中で人口が減少している岩美町とは構図が重なる。蒲生地区のような危機感が町行政にあるかどうかだ

平成27年の地方創生アンケートで、中学生以上の全町民を対象にし、地方創生において行政の本気度を町民の皆様と感じていただきたいと訴えたが、町は抽出調査でも寄せられる回答の誤差は僅少とされ、対象者を千人と中学生とした。また、本年行われた交通実態アンケートは、鳥取大学から千人以上の回答が必要とされ、3割程度の回答率を見込み4千人を抽出し実施し、1,708人から回答だった。対象者について議会に相談はない

アンケートをさせていただく方々を見て、行政を行わなければならない。蒲生地区のように、「みんなでやるぞ」といった姿勢が27年、本年から、印象を受けない。抽出では他人事と捉えてしまう方々を生んでしまう

町は蒲生地区の取り組みに学び、重要案件で、中学生以上の全町民を対象にアンケート調査すべきだ。地域の課題を共有し、町民みずからが主体者として行政と共に考えていくために必要な姿勢だ

町長 中学生以上を対象にしたアンケートを実施することは必要だ。調査内容に応じて的確な調査対象を選択しながら、できるだけ多くの方の意見を伺うよう努める

杉村 今まで、中学生以上全住民を対象としたアンケートはやったことがないと思っているが、どうか

町長 掌握している限りでは、ない

杉村 本年7月執行の岩美町議会議員選挙の有権者数は9,971人、中学生までを加えても、全住民アンケートができない規模では必ずしもない

(詳細は、HPのモルゲンルート(ブログ)H30.12.18)



(H31.4.1 この日からの岩美駅のバス時刻表です)

《平成31年3月13日 杉村宏議員一般質問》

1 (問) 下水道使用料は、実質据え置きを

(答) 消費税引き上げ分は、町民負担とする

杉村 平成 29 年6月の町長答弁で、消費税8%から 10%への引上時に、2%分は下水道使用料に転嫁せず吸収したいと、この議場で示した。(モル6P2参照) 副町長であった西垣町長も承知のとおりだ。しかし、本年2月、10%に転嫁し増税分を町民負担とする説明だ。話が違う

2%分を吸収するため、どのようなことを実行しようとしていたか、この間、経営努力は何を行われたか

町長 前町長の答弁全て踏襲する話ではない。経営努力は、従前から処理場機器やマンホールポンプの定期的な修繕により維持管理コストの低減に努力した。加えて長寿命化計画として、重大な影響を及ぼす事故発生の未然防止のため、国の補助金等を活用したポンプ更新や修繕を行っている。大きく経費が削減できる手だては持ち合わせていない。成果は、自慢ができるものはない

杉村 2%分を吸収しようとして、現西垣町長は経営努力しようとしたのか

町長 2%吸収するためでなく、通常経費削減に努めた

杉村 通常経費削減に努めるのは当然だ。通常経費削減の努力はするけれども、2%分の吸収努力までできていないということか

町長 2%を吸収するという意味ではなく、下水道料金をなるべく上げないために経営努力をした

杉村 2%を吸収するのは相当大変なことだ。なぜできなかったのか。私は期待していた。すぐ 10 月になる。町民の皆さんに2%分をお願いしますではなく、以前こういった表明をしたけれども、申しわけございませんでしたと、町の広報紙にあげるべきだ

議長 しばらく休憩します

(平行線で、質問者に対し止めるよう、議長から助言あり)

町長 2%削減のためという考え方ではない

杉村 大山町の町長は、マイナス情報こそ伝えるものと適切に広報している。立派な姿勢だ。私も同意見だ

杉村 下水道のあり方に関して平成 29 年の浦富地区まちづくり集落座談会で、「公共下水道の浦富処理区の範囲に現在以上の地区は受け入れないと約束した。それは忘れていない。しかし、処理場の能力が大きく、半分ほどの処理量だ。集落排水処理施設の老朽化も進んでいる。地元の考えも変わってくるならば、現状をご理解いただきたい」と説明した。現在まで、下水道や集落排水処理施設の現状をご理解いただく努力は何をしたか

町長 これについてのお話し合い、協議はやってない

杉村 全国でも何番目かの使用料だ。消費税の引き上げに対して吸収しようとする経営努力、下水道や集落排水の現状をご理解いただく努力、それらの行政の努力が町民から見えていない。町民の皆さんは毎月毎月高い下水道使用料をお支払いされている。町として努力していることを何か説明しないか

町長 延命化のための地道な努力を続けている

2 (問) 国民健康保険税の制度変更の検討を

(答) 現行の割合を基本とする

杉村 県に支払う国民健康保険の平成 31 年度の納付金は、医療費指数の上昇などにより前年比 12.54%、3,678 万円の増額だ。これを賄う国民健康保険税を抑制するため、基金を 2,400 万円取り崩すという説明だった

医療費指数が上昇した理由はなにか

住民生活課長 医療費実績で、平成 28 年 31 万円 29 年 35 万円、被保険者1人当たり約 12.9%上昇した。医療費 80 万円以上の件数は、平成 28 年 172 件、29 年 218 件で 46 件、26.7%増だ。その影響が約 4,300 万円ある

杉村 29年の医療費の急増。80万円以上の医療費の件数がプラス 46 件。今、初めて聞いた。今後、調査したい

杉村 国民健康保険税の応益負担の、被保険者均等割と世帯別平等割は、軽減を行ってはいるが、世帯員数が多い場合、厳しい税額だ。負担を強いている応益割合を軽減し、応能割合を増す制度変更の検討を行わないか

町長 被保険者全体の約6割弱が軽減対象だ。現行の割合を基本として対応する



(H31.4.6 昨年よりも天候に恵まれて、小田のひとひら市がたくさんのお客様に来ていただけて開催されていました。役員の方の頼もしい背中です。抹茶の御接待や津軽三味線などのライブ、飲食ブース18軒、ハンドメイド・クラフトブース18軒でした。) **エル9 P4**

3 (問) 救急医療の不採算は

(答) 4千万円の赤字だ

杉村 県東部における救急医療は、救急輪番制病院として中央病院、市立病院、赤十字病院、生協病院の4病院がある。輪番制に参加していない救急告示病院は岩美病院と智頭病院だ。重症は、救命救急センターである中央病院、中等程度は中央病院以外の5病院、軽症は東部医師会の診療所やかかりつけ医師に向かうとする救急医療の連携体制のイメージ図が示されている

一方、岩美病院の平成 29 年度決算で、当年度未処理欠損金が9億 6,789 万円。平成 31 年度当初予算で一般会計から病院会計に3億 9,222 万円を支出する

県政要望で、「救急医療などの不採算部門」とある。救急医療は、どの程度の不採算か

病院事業管理者 外来で1,500 万円、入院は 2,500 万円、両方で 4,000 万円の赤字だ

杉村 とても大事な病院である。そういった負担をし、支えている認識を、町民の皆様と共有し深めたい

杉村 外来 2,812 人、深夜が 287 人。鳥取県地域医療構想の中で兵庫県の但馬区域から東部への流入が1日 133 人ある。287 人の中で岩美町外の方はどうか

病院事業管理者 29 年度の事業報告で、救急受診患者のうち、新温泉町からの受診の割合は 15.4%だ

杉村 その実情は、周辺自治体と共通の認識とすべきだ。

さらに、「当院の医師が1人当たり月4回を超える当直を行っている。」とあるが、平成 31 年度は常勤医師が1名減と報告され、医師の現在と今後の病院での労働時間は、どのような状況なり見込みか

病院事業管理者 他の医師に影響はない

杉村 労働時間として聞いている。厚生労働省は医師の労働時間の短縮計画を医療機関に義務づけることを検討している。岩美病院の現状はどうか

病院事業管理者 先生方の労働時間は、月の時間外労働が 20 時間と把握している

杉村 厚労省は一般勤務医の上限は年 960 時間と提案した。この上限では地域医療を守れない場合があるなどとして年 1,900 から 2,000 時間という特例を設ける案を示した。岩美病院は何百時間というようなことではないという理解でいいか

病院事業管理者 自己研鑽や、必要に応じて仕事として働いているかどうかまでは把握していない

杉村 勤務医は、当直後も通常勤務を7割されているということがあるようだ。岩美病院ではどうか

病院事業管理者 宿直明けも翌日の勤務に従事している

杉村 4回の当直明けはそのまま、通常勤務をされるか

病院事業管理者 勤務表に沿い宿直明けも業務につく

杉村 他にかえがたい人材である医師の皆さんが、岩美病院に勤務してよかったと思っただけの体制を労働時間の面からも整えていく必要がある

4 (問) 固定資産評価は資産価値で

(答) 資産価値のみに着目する

杉村 無償で消防署職員の駐車場として供されてきたとして、無償貸し付けであることを固定資産の土地の評価に斟酌させる当時の町長発言があり、それに対して「町長の言われたとおり」だと平成 29 年9月に税務課長は答弁した。これは、固定資産税の考え方を逸脱するものだ。固定資産評価に資産の貸し付けで有償、無償に影響させてはならない。町税の中心者である税務課長の言葉として、残すべきではない。固定資産税を賦課徴収されている納税義務者の皆様の信頼を裏切る答弁だ

固定資産税における評価は資産価値のみに着目して評価するものと考えますが、税務課長、どうか

税務課長 資産評価のみに着目して評価するものだ

杉村 従来から、この岩美町行政なりに対していろいろ主張しているが、私は間違ったことを言っているつもりは全くない。当たり前のことが当たり前にできていない事項は正すべきだ。この固定資産評価についても一地方自治体の判断が地方税法の考え方に背くことがあるならば、それは当然に修正していかなければならない。

(詳細は、HPのモルゲンロート(ブログ)H31.3.13)



(H31.4.7 小田のひとひら市で、マコモでリースのワークショップのため、きれいに準備されていたマコモの葉。かつて、神戸でマコモの草履が、足触りがいいことから販売されていたようです。相撲取りにも履いていただける高級草履作成は夢です。) **モル9 P5**

《平成31年3月14～20日杉村宏議員予算質疑等》

平成31年度予算に対する杉村宏議員の質疑など

問 県知事や鳥取市長より町長交際費が多額なのは、町民の理解を得難い。そして、町のHPで公開されている平成30年度の町長交際費の執行状況は、予算額200万円に対し、半分ほどだ

従来どおりの額を予算案に計上する理由はなにか

答 平成30年度の町長交際費の決算見込みは、100万円程だが、対外的な予測がつかない部分もある

(杉村:予算とは、そんなもので、予測が外れば、補正提案もできる。決算見込み額の倍もの予算要求は通常考えられない。従来額を正当化しようとするために、従来どおりの額を予算案にしたとしか受け止められない)

問 ゆめぐりエクスプレスバスの運行協議会(鳥取市、新温泉町、当町、日本交通株)に負担金を支払うが、「ゆめぐりエクスプレスバス」と日本交通の「岩井線快速便」との関係はどうか

答 それぞれの運行は別であるが、同一の車両を使用している (杉村:よく理解できませんでした)

問 海水浴場でライフセーバーが行っている監視活動は、無償ボランティアか

答 各海水浴場は、監視員を配置しているが、海水浴客の多い休日に、ライフセーバーが加わり、救難体制の強化を担っていただいている。ライフセービングクラブが行う監視活動に対し交通費と昼食代の補助を行っている (杉村:有償ボランティアを検討すべきだ)

問 海水浴場の開設期間は、いつまでとされているか

答 本年は、8月18日(日)までと、聞いている

問 東部広域行政管理組合に支払う、し尿処理費の負担金額が増加している。理由はなにか

答 施設修繕が新年度に見込まれている

問 平成30年度岩美町病院事業予定損益計算書のなかで、旧病院の土地と建物が、減損の兆候を認識しているものの、減損損失は認識していないとある。それは、①割引前将来キャッシュフローの総額が、②帳簿価格を上回るためと記載されているが、それでは、①と②の価格は具体的にいくらなのか

答 ①は税務課による再評価を行って7000万円。②は土地700万円、建物1500万円、合計2200万円だ

(杉村:3月議会における他議員の一般質問で、旧病院の建物は財政状況を見ながら、取壊しを検討したいと答弁していた。相当な額が見込まれる取壊し費用も含め、本当に減損損失に該当していないのだろうか) **エル9 P6**

消費税10%引き上げ中止を求める意見書提出の請願に対し、賛成討論

消費税は逆進性の高い税目で、税率を引き上げることは、逆進性をさらに拡大させる。一部で軽減税率も導入されるようだが、根本的解決からは程遠い。税率は引き上げるべきではなく、採択すべき

平成31年3月22日、反対者多数で、不採択

賛成者:杉村、升井、田中

反対者:橋本、森田、吉田、寺垣、宮本、川口、澤、柳

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求めることに対し、賛成討論

全国知事会が、在日米軍基地に係る基地負担の状況を、基地等の所在の有無に関わらず広く理解し、都道府県の共通理解を深めることを目的とされて、論議され、提言なされたことは大変に意義深く、敬意を表させていただく(知事会は、2年近くかけて提言をまとめ、平成30年7月の知事会議全会一致で採択し、8月に日米両政府に提言した)

日米安全保障条約の下で、米軍基地が日本国内に存在しているなか、米軍基地の負担は日本全体で担うべきであり、また、その規模の適正化や国民の負担軽減は、日本国の政治が果たすべき責務であるという立場だ

日米地位協定の見直しを求めることは、日本国の政治が、国民の負担軽減を果たすための責務だ。採択すべき平成31年3月22日、反対者多数で、不採択

賛成者:杉村、田中

反対者:橋本、升井、森田、吉田、寺垣、宮本、川口、澤、柳



(H31.3.26 陸上地内甘露神社にて。陸上「くがみ」は「くがのみず」で、甘露のような水があるところだと思っています。現在でも、陸上川の伏流水が、岩美町の上水道の原水として採水され、東地区、牧谷、町浦富のほとんど、浜浦富、田後に供給されています)

岩美町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正に反対(H31.3.22)

本日現在としては、従来からの主張のとおり、反対する。

平成22年の岩美町議会議員一般選挙が、町政初の無投票であり、「多くの町民から、このようなことが二度と無いように」との批判の声が上がり、岩美町議会は、町民の信頼と負託に応えるため、議会の改革、改善を図るための岩美町議会改革調査特別委員会を設置し、平成25年6月に、その報告をしている

報告のなかで、議会中継について、今後も、中継手法・範囲を広げていくよう検討する。一般質問について、一般質問を行う議員が限られている。常任委員会について、平成26年7月の改選後に検討を委ねる。議会基本条例についても、改選後に委ねる。議員報酬についても、改選後に委ねる。報告書の最後に、改選後、再度の検討を望むとし、役割と責任を自覚して、さらなる自己研鑽に努め、今後の時代の要請に応えていくことを誓っている。これが、岩美町議会における活性化への取り組みとして町のHPに、平成31年の今も、平成25年6月現在として掲載されている

そして、岩美町議会の近年の実態は、県内最低レベルだ
今期の議会は、前期の議会を引き継いでいる。前期以前のことだから知りませんという姿勢は通らない。自らが、改革を行うと報告しながら、放置している状況の中で、どうして、審議会の答申を受け入れて、報酬を引き上げる条例改正に同意できるのか。施行時期の問題ではない
平成31年3月22日、反対者1名で、改正された

(議会議員の報酬額と報酬等審議会の関係)

審議会は、適正と考えられる報酬のレベルを提起したくもので、議会議員は、そのレベルや実施時期、報酬以外の議会議員を取り巻く環境全てを、町民の目線からどこに民意があるのかを政治判断するものだ

この杉村議員の従来からの主張に対し、設置されている議員報酬調査特別委員会の11名のうち10名の委員(杉村議員以外の議員)の御理解は、ありません

(関連)岩美町議会改革調査特別委員会設置の決議案を3月議会提出見送り、6月提案見込

議会に提出する決議案等は、12分の1以上の賛成者(岩美町議会では1名以上)で提出できることから、本年2月26日の全員協議会で、特別委員会再設置の決議案を提出することを表明した

しかし、議長において、様々な配慮があり、3月提出を見送り、次回定例会6月には、形にしたいと考えている

待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情に対し、賛成討論

待機児童の解消、保育士等の処遇改善は、あまりに当然のことだ。保育の現場は、多くの女性に担っていただいております。人間社会、特に、日本の中で、女性の立場は国際的に見て、世界経済フォーラムが発表した「ジェンダーギャップ指数」で144カ国中、日本は114位と惨憺たる評価を受けている。働く女性を「消費」する国とも言われており、女性の立場を向上させる観点からも、保育士等の処遇改善は重要なことだ。採択すべき

平成30年12月20日、趣旨採択

町職員の不祥事に関する調査特別委員会設置

平成31年3月22日、標記の特別委員会の設置が、本会議で決議された。委員7人、調査する内容は、町職員の不祥事について、飲酒運転や不適切な介護事務等の再発防止のため、議員の立場から調査するものだ。

杉村宏議員は、この特別委員会の設置に消極的で、まず、町執行部が、該当職員の懲戒処分等の可否等を検討してから、委員会設置の必要性も含め考えたいと発言していたが、設置され、設置後、直ちに開催された同委員会で、委員長選考委員会から委員長就任を推薦され、辞退を表明したが、岩美町議会では辞退はできないと年長委員等からあり、全委員の同意のもと、委員長に就任した。副委員長は、委員長指名が慣例で、柳正敏委員を指名した。

なお、町行政は、職員の不祥事等町民の信頼を損なうことが続いたことに対し、町長、副町長、教育長の監督責任を明らかにするため、平成31年1月から3月まで、給料月額を10分の1減ずる条例案を提出し、3月22日可決している。



(H31.4.1 岩井地内岩井屋さんの桜。町内で最も早く咲く桜(梁井吉野)と言う方もおられます。地熱が関係する?) EIL9 P7

「読者の声」 H30.10.11から H31.3.18 の間に頂きました(全部の掲載で、頂いた順)

◎一般質問できない議員は、信用できない

(鳥取県町村議会の平成30年7月1日現在の第64回町村議会実態調査集計表のP19で、一般質問の実施状況は一定例会あたり県内平均7.7人で、最低が4.8人。岩美町議会は、その次で5.0人。質問している岩美町議会議員は大体固定している。一般質問は、希望する議員が質問通告書の提出順に行い、通告書を提出しない議員は質問できない)

◎なにかわからないけど、議会でたたかれています？

(平成30年3月発行の議会だよりの号外は、岩美町議会の公式な見解表明だ。町議会が杉村宏議員の主張を否定し、11名の議員の見解を公にし、町民の皆様へお伝えすることが、ここから始まっている。(平成30年1月5日の議会運営委員会会議録などを杉村宏HPで参照)号外の発行を決定したのは議会運営委員長、発行責任者は議長、編集責任者は議会だより調査特別委員会委員長。)

◎これまでのモルゲンロートを、取って置いていたけど、全部捨てた

◎(本誌を手に取り)こんなもん、別にどうでもいい。ゴミになるだけだ

◎毎回、TVで観ています。尊敬しています。岩美町を変えてください。

次の〇〇に出てください

◎4年前、初めのときから応援しています。定年後に選挙に出るのではなく、

早くに辞めて出られたことが素晴らしい。やりたいことがあったと思う

(岩美町を、自由な町にしたい。息苦しくないようにしたい。そんな想いです。去年の号外発行も、町行政や町議会が風通しを良くして、町民の皆様の負託に応えるための、通過儀礼のようなものと本人は特段、意に介しておりません。家族は未だに苦しんでおりますけれど。)

◎同感する。書こうとしていたことを、書いてくれた。うれしくて電話した

(議員年金に関する投書が新聞に掲載され、読んでいただいた感想でした)

◎孫の男の子が、杉村宏議員に同感し、応援しています

◎ああ、杉村さんが。いつも、ありがとう (各地で、多数いただきます。当方が、お名前などを承知していない場合が多く、申し訳ありません)

◎朝焼けの写真が、きれいです

◎今までのモルゲンロートを全部読んだ。町議会の中で、一人で闘っている杉村宏議員を尊敬する。自分も組織の中であって、上司から言い負かされることもよくあるが、もっと努力したい。号外を出されるような人には会わないほうがいいと言う人もいたが、そんなことはないと思う。力をもらった

◎昨年3月の号外発行から1年が経つ。発行にかかわった町議会議員は、どのような政治責任を取ったのか。まさか、ほっかむりではなからうな。議論すべき議会である岩美町議会始まって以来最大の汚点を、号外で町民に示した。かかわった議員は、辞職して報酬返還しても、まだ足りない。議論できなかった町議会への損失補償も加えなければならないほど酷いことだ

◎号外を発行した岩美町議会はレベルがひどすぎる。岩美町の半分以上の人が、こんなことをする町議会にあきれて、信用していない

◎鳥取に行くよりも、岩美の道の駅に行く方が岩美道路で近いし、魚もあり野菜もあって、いい。よく行く(鳥取市福部町の方より)

◎前町長も現町長も、その場しのぎの答弁しかしない。その上、3月の消費税の質問でも、これから議論が深まるというところで休憩が入り、何があったのかわからないが、終わってしまい、消化不良だ。議事進行がおかしい

編集後記

今回も、最後まで読んでくださり、ありがとうございます。

HPの検索は、**杉村宏 政治活動**でやってみるとBingでは、トップに出てきました。見てもいいかなと思っていただけの方は検索してみてください。PCでもスマートフォンでも表示されます。YAHOOやグーグルでは検索できませんでした。ヒットしない場合は、1面に記載しているアドレスを直接入力するか、QRコードで読み取るかをお願いいたします(面倒で申し訳ありません)

面倒なことや解りにくいことは、あまり載せないほうがいいと言っても、本人が聞かないので、困っています。特に、本人の興味に関するクイズをフッターコンテンツに載せています。1面に1問掲載しましたが、現在のところ140問を登録し、そのうち15問がランダムに出題されるそうです。編集長の私からすれば、「それが何なのかな?」と疑問に思う出題ばかりです。とのことで、1面に掲載したクイズの回答は「91%」だそうです。生活に関係のない、どうでもいいことの最たるものと思いませんか。

1面の彼(我が家の猫)は、いろいろ捕まえてきて、具体的な成果が目に見えます。彼はよくやっています(=・^・=)🐾

モルゲンロートは、朝日が高峰の頂きよりあたり始め、明るいオレンジ色に輝く様です。杉村宏が高校総体で早朝の南アルプス北岳の輝く姿を観て感動し、明るい今後でありたいとの想いから誌名としています。



(H31.3.26 町浦富地内) **EL9 P8**